



気候変動防止への取り組み

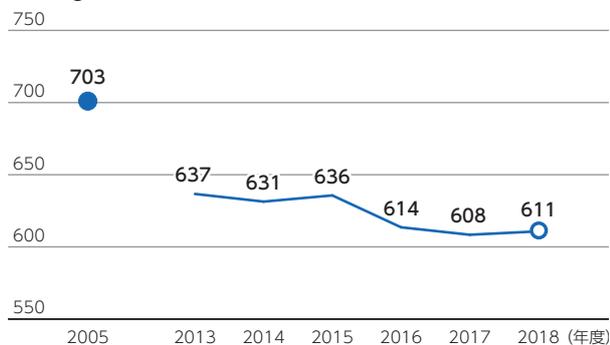


CO₂排出量削減への取り組み

当社は、気候変動への取り組みとして、温室効果ガス(GHG)の一つであるCO₂排出量削減に取り組んでいます。中期計画(2017-2019)では2020年度までにCO₂排出量をBAU(特別な対策をとらないケース)比2.6%削減することを目標として掲げています。2018年度実績では2.83%の削減を達成しており、2020年度の目標達成に向け、更に注力していきます。また、重油から都市ガスへの燃料転換、加熱炉のリジェネバーナー化、大型モーターのインバーター化(回転数制御化)等の省エネルギー対策を継続的に推進してきたことにより、2005年度と比較し、粗鋼1t当たりCO₂排出量原単位を13%削減しています。これらの取り組みの実施により、経産省が実施している事業者クラス分け評価制度において、当社は4年連続で最高ランクの省エネ優良事業者(Sクラス)として評価されています。

粗鋼量あたりのCO₂排出量原単位

(CO₂-kg/t)



フロンへの排出抑制

GHGの一つであるフロンガスが大気に放出されると、地球温暖化に影響を及ぼすとされており、当社にある業務用エアコン等にも使用されています。当社では、フロン排出抑制法に従い、業務用エアコン等の第一種特定製品の点検を実施し、フロンガスの適正管理に努めています。

製品輸送時の環境負荷低減

CO₂排出量削減には、製造工程面だけでなく物流面での取り組みも欠かせません。特に製品出荷時の輸送手段の選択は物流面での環境負荷低減の重要なポイントであると考えています。そのため、製品の品質確保ができることを条件に、CO₂排出量がトラック輸送と比べ約90%削減できる鉄道輸送や、約80%削減できる船舶輸送の利用促進に努めています。当社の全製品出荷量に占める船舶輸送比率は製造業平均を大幅に上回っています。

〈具体的取組み〉

- 東北方面に向けての鉄道輸送の実施
- 関東・中部・四国・中国・九州方面に設置している中継倉庫への輸送に船舶を利用
- 輸送本船が出港する神戸港までの輸送方法を、トラックからはしけ(舢舨)に転換

